増設コードレス子機 取扱説明書

BCL-D100WH
BCL-D110BK
BCL-D110WH

本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version A JPN

安全にお使いいただくために

本製品をお使いいただく前に、本書をお読みください。

凡例

この安全ガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。

危険　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、ほぼ間違いなく人が死亡あるいは重傷を負う極めて高度な危険がある内容を示しています。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。

重要　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。

お願い　ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示します。

表示アイコンの説明

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	「してはいけないこと」を示しています。		「分解してはいけないこと」を示しています。		「水ぬれ禁止」を示しています。
	「可燃性スプレーを使用してはいけないこと」を示しています。		「火気に近づけてはいけないこと」を示しています。		「アルコールなどの有機溶剤や液体を使用してはいけないこと」を示しています。
	「しなければいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。		「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。		「やけどの危険があること」を示しています。		「爆発の危険があること」を示しています。

・本書および取扱説明書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）へご連絡ください。

電源や機器の配線について

⚠ 警 告

火災や感電、やけど、故障の原因になります。

電源はAC100V、50Hzまたは60Hzでご使用ください。

- DC電源またはインバーター(DC-AC変換装置)を接続してのご使用は絶対におやめください。火災、感電の原因になります。本製品を接続するコンセントがAC電源またはDC電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格をお持ちの方にご相談ください。

電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグの本体（金属でない部分）を持って引き抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。

電源コードを破損するような以下のことをしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- 加工する
- 無理に曲げる
- 高温部に近づける
- 引っ張る
- ねじる
- たばねる
- 重いものをのせる
- 挟み込む
- 金属部にかける
- 折り曲げをくりかえす
- 壁に押しつける

本製品を清掃するときは、必ず（電源をOFFにし、）コンセントから電源コードを抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

たこ足配線はしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。火災、故障の原因となります。

本製品の電源プラグに液体、金具を落とさないでください。火災や感電、故障の原因となります。

傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

本製品および接続されているケーブル類に有機溶剤（ベンジン・シンナー・除光液・芳香剤など）を付着させないでください。
変形・溶解して、感電や火災の危険性があります。

⚠ 警 告

火災や感電、やけど、故障の原因になります。

延長コードを使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、延長コードの多重配線をしないでください。(直接電源に接続してください。)火災や感電、故障の原因となります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を乾いた布で清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

⚠ 注 意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。また、本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。
緊急時に容易にアクセスできるように本製品はコンセントの近くに設置してください。

お願い

いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

電源コンセントの共用にはご注意ください。
コピー機などの高電力機器や携帯電話の充電器と同じ電源コンセントは避けてください。ノイズが発生したり、本製品の操作に不具合を生ずることがあります。

このような場所に置かないで

警 告

以下の場所には設置しないでください。火災や感電、故障や変形の原因となります。

水のかかる場所(台所、風呂場や加湿器の近くなど）や、湿度の高い場所には設置しないでください。漏電による感電、火災の原因となります。

火気や熱器具、揮発性可燃物の近くに設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

急激な温度変化や湿度変化がある場所や結露の発生する場所には設置しないでください。漏電による感電や火災、故障の原因となります。
本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：5 ～ 35 ℃
湿度：20 ～ 80%

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本製品から微弱な電磁波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、直ちに、医師にご相談ください。

本製品を以下の場所に設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- 温度の高い場所、暖房設備などの近辺
- 直射日光が当たるところ
- 調理台近くなど油飛びや湯気の当たる場所
- テレビ、ラジオ、スピーカー、コタツなど磁気を含んだ機器や、磁界を生ずる機器に近い場所
- ほこりや鉄粉、湿気の多い場所
- 風通しの悪い場所
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上
- カーテンに近い場所

注 意

故障や変形、やけど、けがの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になることがあります。

もしもこんなときには

警告

下記の状況でそのまま使用すると火災や感電の原因となります。

異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、異臭がした場合は、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にご相談ください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

本製品を落としたり、破損した場合は、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にご相談ください。
そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。

本製品を清掃する際、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災、感電の原因となります。

可燃性スプレーの例

- ほこり除去スプレー
- 殺虫スプレー
- アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
- アルコールなどの有機溶剤や液体

製品の掃除のしかたは、ユーザーズガイド基本編をお読みください。

分解、改造はしないでください
修理などはお客様相談窓口にご相談ください。
火災、感電の原因となります。

火気を近づけないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

注意

本製品に貼られているラベル類（操作を示したり、製品番号が記載されたラベル）ははがさないでください。

お願い

長期間不在にするときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

落下させたり、衝撃を与えないでください。

電波障害時の対処
本製品の近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- 製品をテレビから遠ざける
- 製品またはテレビなどの向きを変える
- 製品をコードレス電話の親機から遠ざける

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のため設置場所を変えるなどして互いに干渉が起きないようにしてください。

子機、充電器の取り扱い

⚠ 警 告

子機を電子レンジの中に入れないでください。火災の原因になることがあります。

子機のバッテリー、充電器は必ず専用のものをご使用ください。火災や感電の原因となることがあります。

万一、子機や充電器の内部に水や異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜き、子機のバッテリーをはずしてお客様相談窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注 意

充電器の上に硬貨などの金属を置かないでください。やけどをするおそれがあります。

子機のスピーカーには磁石が使われています。鉄粉、金属片などを吸いつける可能性がありますので、鉄粉、金属片の多い場所で使用しないでください。
金属片（ホチキスの針、がびょう、針など）が付着していた場合は取り除いてご使用ください。

子機の待機中は、子機の背面にあるスピーカーには絶対に耳を近づけないでください。ベルが突然鳴って、事故やけが、聴覚障害の原因となることがあります。

重要

充電器からは磁力線が出ています。磁気に弱いもの（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。磁気に弱いものは、使えなくなる可能性があります。

お願い

本製品はデジタル信号を利用した傍受されにくい製品ですが、コードレス子機を使っての通話は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。大切な通話は、親機のご使用をおすすめします。

以下のような場合には雑音が入ることがあります。

- 電器製品（OA機器、電子レンジ、携帯電話やPHS の充電器やACアダプターなど）の近くに設置したとき
- 充電器や親機の電源コードと同じコンセントに接続したとき

移動しながら子機を使用しているときは、使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所でご使用ください。

ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用しているときは、通話が途切れることがあります。
一時的に親機をご利用ください。

その他、下記の機器でも2.4GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
なるべく設置場所や使用場所を離してください。

- 電子レンジ、火災報知器、工場や倉庫などの物流システム、マイクロ波治療器、自動ドア、自動制御機器、アマチュア無線局
- ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）、無線LAN機器、鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー、万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- その他、短距離無線通信対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

バッテリーの取り扱い

⚠ 危 険

バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

専用の充電器をご使用ください。
爆発や火災の原因となります。

バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。
爆発や火災の原因となります。

金属製品と一緒に保管しないでください。
ショートし火災の原因となります。

バッテリー端子をショートさせないでください。
やけどをする可能性があります。

コードの被覆やビニールカバーをはがしたり、傷をつけたりしないでください。ショートや感電の原因となります。
万一、傷つけてしまったときは使用しないでください。

バッテリーは必ず専用のものをご使用ください。
爆発や火災の原因となります。

液漏れしたときは、液が皮膚や衣服に付着したり、目に入らないようにしてください。
液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

分解、改造をしないでください。

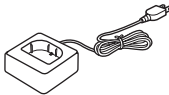
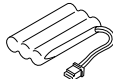
温度の高いところでは充電しないでください。

電子レンジや高圧容器に入れないでください。
爆発の原因となります。

バッテリーの接続コネクタには、極性（赤／黒）を間違えないように入れてください。製品の故障の原因となります。

バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
爆発や火災の原因となります。

お願い

バッテリーをはじめて使用する際に、さびや発熱、その他異常と思われることがあったときは、使用せずに、販売店にご連絡ください。

子機の操作、注意事項については、ユーザーズガイド基本編をご参照ください。

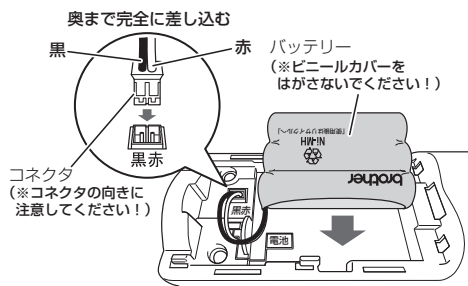
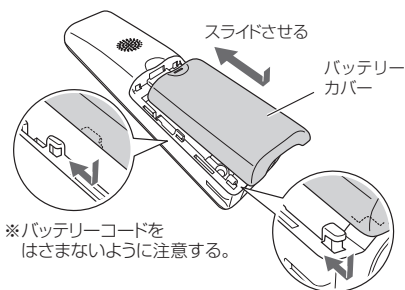
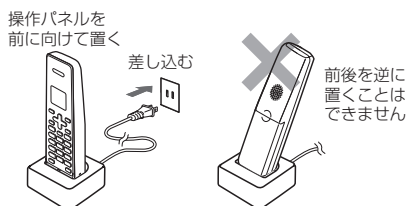
付属品を確認する

箱の中に次のものがそろっているか確認してください。
万一不足しているものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

子機 1台	子機充電器 1台	子機用バッテリー 1個	子機用バッテリーカバー 1個
			子機判別シール
取扱説明書（保証書は取扱説明書に印刷されています。）			

子機を充電しましょう

●登録をしないと子機はご利用になれません。
●登録する前に、必ず12時間以上充電してください。

1 下図の向きにコネクタを差し込み、バッテリーをセットする

2 バッテリーカバーを閉める

3 電源プラグをコンセントに差し込み、子機を充電器にセットする

※子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。

注意

バッテリー残量が極端に少なくなっているときは、充電器にセットしても［ジュウデンチュウ］と表示されなかったり、充電表示ランプが点灯しないことがありますが、しばらく充電すると表示されます。

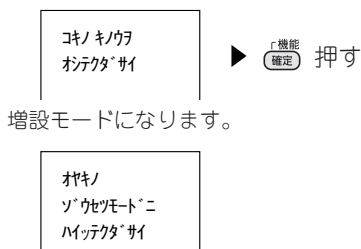
子機を登録する（MFC-J700D/DW、J955DN/DWN、J960DN-B/W、J960DWN-B/Wの場合）

・登録は、親機と増設するコードレス子機で行います。登録後、増設コードレス子機として使用することができます。
・2台以上の増設コードレス子機を登録する場合は、１台ずつ登録してください。（同時に増設を行わない）
・子機の増設中は、他の子機を操作しないでください。
・手順1の前に［切］を押すと、子機の画面に［ﾂｳﾜ ｹﾝｶﾞｲ］と表示されます。その場合は、14ページの「子機の登録をしなおす」を行ってください。
・増設される子機の子機番号は、登録順に1、2、3、4と設定されます。
・増設できるコードレス子機は、親機に付属の子機を含めて4台です。

1 子機の［機能/確定］を押す

増設モードになります。

ｵﾔｷﾉ
ｿﾞｳｾﾂﾓｰﾄﾞﾆ
ﾊｲｯﾃｸﾀﾞｻｲ

お願い

子機を増設モードにしてから、2分以内に手順2～手順5を終えてください。

2 親機の待ち受け画面の【メニュー】を押す

※画面は代表例としてMFC-J960DN-Wです。

3 メニュー画面の【▼】／【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

4 初期設定画面の【▼】／【▲】を押して画面をスクロールさせ、【子機増設モード】を押す

5 子機増設モード画面の【増設】を押す

・タッチパネルに【増設中】と表示されます。
・子機の登録が正しく完了したときは、タッチパネルに【設定しました】と2秒間表示され、子機増設モードに戻ります。

6 親機の［停止/終了］を押す

待ち受け画面に戻ります。

注意

・子機の増設が正しくできなかったときは、親機にエラーメッセージが表示され子機増設モードに戻ります。再度、登録しなおしてください。エラー後、1分以内の場合は、手順5から、1分以上経過している場合は、手順2から行ってください。
・子機登録番号が連続していない場合は、一旦登録を消去してからやり直してください。（☞15ページ）

子機を登録する（MFC-J705D/DW、J710D/DWの場合）

・登録は、親機と増設するコードレス子機で行います。登録後、増設コードレス子機として使用することができます。
・2台以上の増設コードレス子機を登録する場合は、１台ずつ登録してください。（同時に増設を行わない）
・子機の増設中は、他の子機を操作しないでください。
・手順1の前に［切］を押すと、子機の画面に［ﾂｳﾜ ｹﾝｶﾞｲ］と表示されます。その場合は、14ページの「子機の登録をしなおす」を行ってください。
・増設される子機の子機番号は、登録順に1、2、3、4と設定されます。
・増設できるコードレス子機は、親機に付属の子機を含めて4台です。

1 子機の［機能確定］を押す

ｺｷﾉ ｷﾉｳｦ
ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

増設モードになります。

ｵﾔｷﾉ
ｿﾞｳｾﾂﾓｰﾄﾞﾆ
ﾊｲｯﾃｸﾀﾞｻｲ

お願い

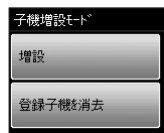
子機を増設モードにしてから、2分以内に手順2～手順5を終えてください。

2 親機の待ち受け画面の【メニュー】を押す

※画面は代表例としてMFC-J710Dです。

3 ［∨］／［∧］を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

4 ［∨］／［∧］を押して画面をスクロールさせ、【子機増設モード】を押す

5 【増設】を押す

・タッチパネルに【増設中】と表示されます。
・子機の登録が正しく完了したときは、タッチパネルに【設定しました】と2秒間表示され、子機増設モードに戻ります。

6 親機の［停止/終了］を押す

待ち受け画面に戻ります。

注意

・子機の増設が正しくできなかったときは、親機にエラーメッセージが表示され子機増設モードに戻ります。再度、登録しなおしてください。エラー後、1分以内の場合は、手順5から、1分以上経過している場合は、手順2から行ってください。
・子機登録番号が連続していない場合は、一旦登録を消去してからやり直してください。（☞15ページ）

子機を登録する
(MFC-J800D/DW、J805D/DW、J810DN/DWN、J850DN/DWN、J855DN/DWN、J860DN/DWNの場合)

・登録は、通信ボックスと増設するコードレス子機で行います。登録後、増設コードレス子機として使用することができます。
・2台以上の増設コードレス子機を登録する場合は、1台ずつ登録してください。(同時に増設を行わない)
・子機の増設中は、他の子機を操作しないでください。
・手順1の前に 切 を押すと、子機の画面に［ﾂｳﾜ ｹﾝｶﾞｲ］と表示されます。その場合は、14ページの「子機の登録をしなおす」を行ってください。
・増設される子機の子機番号は、登録順に1、2、3、4と設定されます。
・増設できるコードレス子機は、通信ボックスに付属の子機を含めて4台です。

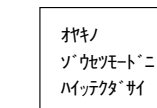
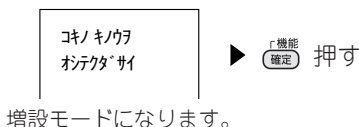
1 子機の 機能/確定 を押す

ｺｷﾉ ｷﾉｳｦ
ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

▶ 機能/確定 押す

増設モードになります。

ｵﾔｷﾉ
ｿﾞｳｾﾂﾓｰﾄﾞﾆ
ﾊｲｯﾃｸﾀﾞｻｲ

お願い

子機を増設モードにしてから、2分以内に手順2〜手順5を終えてください。

2 通信ボックスの 機能/確定 を押し、⏮/⏭ で【0.ショキ セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

0. ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

3 ⏮/⏭ で【5.コキゾウセツ モード】を選び、機能/確定 を押す

5. ｺｷｿﾞｳｾﾂ ﾓｰﾄﾞ

子機増設モード画面が表示されます。

4 【コキ# : 1---】と【キノウデ ゾウセツカイシ】が交互に表示されたら、機能/確定 を押す

ｺｷ#:1---

※画面は付属の子機が1台の場合

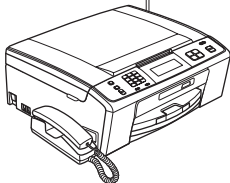
・通信ボックスの画面に【ゾウセツ チュウ】と表示されます。
・子機の登録が正しく完了したときは、通信ボックスの画面に【セッテイ シマシタ】と2秒間表示され、子機増設モードに戻ります。

5 通信ボックスの 停止 を押す

待ち受け画面に戻ります。

注意

・子機の増設が正しくできなかったときは、通信ボックスの画面にエラーメッセージが表示され子機増設モードに戻ります。再度、登録しなおしてください。エラー後、1分以内の場合は、手順4から、1分以上経過している場合は、手順2から行ってください。
・子機登録番号が連続していない場合は、一旦登録を消去してからやり直してください。(☞15ページ)

子機の登録をしなおす

1 子機を増設モードにする

［機能/確定］押す ▶ ［十字キー］で[ｺｷ ｿﾞｳｾﾂ]を選ぶ ▶ ［機能/確定］押す ▶ 増設モードになります。

「子機を登録する」の手順2以降を実行してください。

内線番号について

- 増設コードレス子機を登録後、付属品の子機判別シールを貼り付けます。
- 子機からの内線番号のしかた、外線の取り次ぎかたはユーザーズガイド基本編を参照してください。
- 増設できるコードレス子機は、親機や通信ボックスに付属の子機を含めて4台です。

親機	コードレス子機			
	1台目	2台目	3台目	4台目
通信ボックス	付属	増設 （または付属※）	増設	増設
内線番号	1	2	3	4

※ モデル名の末尾がDWまたはDWNの場合は、子機2台付きです。

増設したコードレス子機の登録を消去する

登録の消去は、親機または通信ボックスで行います。子機の登録消去を行うと増設された子機は全消去され、子機増設台数は0台になります。

注意

・あらかじめ下記の登録消去方法を一度お読みになってから、操作を始めてください。
・子機の登録消去中は、他の子機を操作しないでください。

MFC-J700D/DW、J705D/DW、J710D/DW、J955DN/DWN、J960DN-B/W、J960DWN-B/Wの場合

1 親機の待ち受け画面の【メニュー】を押す

2 メニュー画面の【▼】/【▲】または ∨ / ∧ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 初期設定画面の【▼】/【▲】または ∨ / ∧ を押して画面をスクロールさせ、【子機増設モード】を押す

4 子機増設モード画面の【登録子機を消去】を押す

タッチパネルに［子機増設をすべて消去しますか？］と表示されます。

5 【はい】を押す

増設した子機は全消去され、子機増設モードに戻ります。

MFC-J800D/DW、J805D/DW、J810DN/DWN、J850DN/DWN、J855DN/DWN、J860DN/DWNの場合

1 通信ボックスの 機能/確定 を押し、⏮/⏭ で【0.ショキ セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

2 ⏮/⏭ で【5.コキゾウセツモード】を選び、機能/確定 を押す

3 消去/もどる を押す

通信ボックスの画面に［スベテ ショウキョ?］と［▼ スル ▲ シナイ］がくり返し表示されます。

4 ⏮ を押す

増設した子機は全消去され、子機増設モードに戻ります。

バッテリーについて

子機のバッテリーには、充電式ニッケル水素電池を使用しています。
不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。

・ビニールカバーははがさないでリサイクル箱へ
・分解しないでリサイクル箱へ
・コード先端をテープなどで絶縁してリサイクル箱へ

保証書

機種名	BCL-D100WH BCL-D110BK BCL-D110WH
保証期間	本体1年 （但し消耗品〈バッテリーなど〉は除く）

本書は、本書記載内容で**無償修理**（持込修理）を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、**お買い上げの販売店または、下記お客様相談窓口**に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年　月　日
お客様	ご芳名　　　　様 〒□□□-□□□□ ご住所 電話（　　）

販売店	住所・店名　　　　印 電話（　　）

ブラザー販売株式会社
〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町15-1
ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
050-3786-7712

保証規定

1) 親機および本取扱説明書などの注意書にしたがった正常な状態で、保証期間内に故障した場合は無償で修理します。この場合は、表記の販売店もしくは、お客様相談窓口にご依頼ください。
2) 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
   - ・ブラザー製品以外の消耗品（バッテリーなど）の使用に起因して生じた本体の損傷、故障及び障害。
   - ・取扱い上の不注意、誤用による故障及び損傷。
   - ・当社又は表記の販売店以外による修理、改造による故障及び損傷。
   - ・火災、天災地変又は異常電圧、公害、塩害、異物又はゴキブリや虫の侵入等による故障及び損傷。
   - ・油煙、熱、塵、水、直射日光などの劣悪設置環境による場合
   - ・本書のご提示がない場合
   - ・本書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き替えられた場合
   - ・接続している他の機器に起因した故障及び損傷。
   - ・消耗部分の消耗、損傷。
3) この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
4) 故障、その他による営業上の機会損失は当社では補償いたしません。
5) 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

＊この保証書は、以上の保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これにより、弊社または弊社以外の事業者に対する、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。